

# 豪雨・水害対策を万全に



一山 稔 議員

**【問】** 一山 稔 議員

国は、浸水想定区域が設定されていない中小河川でも市町村長が過去の大雨による浸水状況を住民に周知するよう求めているが、海部老人ホームの避難計画の策定や訓練はどうか。他の施設との連携や指導はしているのか。

杉谷側の谷合も遊水地が少なくなり水害が心配されるが排水対策の計画はどうか。ポンプの排水量と鉄道の下の排水溝が狭いので、抜本的に考えなければと思うが。

大山一号線沿いの残土処理場の残土は土砂災害の問

題はないのか。牟岐川に葦や木が生い茂り、土砂も堆積しているが、撤去の計画はあるか。護岸が傷んでいる所や土のうを積んでいる護岸の改修計画はどうか。水位上昇が一目でわかるように橋脚に色分けした目盛の設置をしてはどうか。

**【答】** 福井町長

老人ホームでは、避難計画を策定し訓練も実施しているが、洪水への計画はない、早期に計画策定を行い実施したい。3施設で協議を行っており、災害対策や訓練の実施に連携して取り組んでいく。

杉谷地区の排水は調整池を設置し、水路も設置して以前より良くなっている。残土処理場は、徳島県林地開発許可基準に基づき安全上支障がない。牟岐川等の土砂堆積、樹

木、葦等は新しい残土処理場の建設に合わせ撤去要望をしていきたい。河川橋脚の目盛等は県にお願いをする。

**【答】** 寒葉建設課長

護岸の現場を確認し、災害復旧事業等に対応していただく。赤水の護岸は、コンクリートブロック積みで今年度の秋に着工との回答をいただいている。牟岐川への排水ポンプは、毎秒1tの排水です。また、杉谷地区が浸水しなくなるには、JRの工事とか国道の改修が必要。ポンプ増設も含めて考えていきたい。

**【問】** 一山議員

# 待機児童問題とアレルギー 体質児童への取り組みは

待機児童問題が解消されない理由に「保育士不足」を挙げ、確保のための待遇改善、総合的な対策が求められているが本町では保育士の規定人数は確保されているのか。また、待機児童はいるのか。アレルギー体質の幼児の受け入れ体制や給食対応はどのようにしているのか。今後、保育士確保のための待遇改善と保育サービスの計画は。

**【答】** 福井町長

保育士の規定人数は確保しているが、子どもの実態を踏まえ適正な保育に努めたい。待機児童はいない。保育士確保の取り組みは特になが、保護者のニーズを考慮しながら、必要な保育を実施したい。

**【答】** 大柳戸保育園長

アレルギーが原因で受け入れないという事例はなく、入園前の懇談で聞き取りを行い、入園後は医師の指示を仰ぎ保護者、担任、栄養士を交え相談して進めている。家庭での食物の摂取状況を確認し、指導表をもとに保護者と計画書を作成し、献立、食材を保護者に確認してもらい、保育士、栄養士管理のもとチェック表で担任が喫食の確認をしている。また、職員会などで共通理解も図っている。



葦が生い茂る牟岐川